

とき

vol.8

旬しゅんの人「御厨ぶどう」
銘柄産地の確立へ

ながさき西海農協
松浦地区ぶどう部会の皆さん



地元産巨峰をPRする「御厨ぶどうまつり」
(Aコープ御厨店前広場、8月5～6日)

ながさき西海農協松浦地区ぶどう部会（下田豊会長）では、御厨ぶどうまつりや品評会を開催し、「御厨ぶどう」の銘柄産地確立に取り組んでいます。

御厨ぶどうは昭和37年に、星鹿町下田・牟田地区の農家が、福岡県田主丸地方の巨峰栽培に習い、巨峰とキャンベルを栽培したことに始まります。

昭和49年に現在のぶどう部会を結成し、生産農家の生産技術向上や栽培管理の統一などの取り組みを始めました。現在18戸の農家が、農協や農業改良普及センターの指導員から技術指導を受け、全国的にも栽培例の少ないハウスで、巨峰と安芸クイーンを栽培しています。また、収穫量の見込みをたて、県内への流通・販売促進にも力を入れています。

下田会長は「ぶどうの栽培では特に、房づくりや色づけ、玉太りに気をつけています。御厨ぶどうを出荷し、御先や消費者から『おいしい』と言われたときはうれしいです。現在、農家の高齢化が進み、後継者不足と言われていますが、ぶどう農家も例外ではありません。若い人たちが、これまで築き上げてきた御厨ぶどうの栽培に取り組んでくれることを期待しています」と話していました。



のぶかず
小村信和さんに防犯功労者表彰

松浦地区連合防犯協会から小村信和さん（今福・北東2）に防犯功労者表彰が贈られました。

小村さんは、平成4年から今福町北東2地区の防犯連絡所長としての活動を継続しており、平成16年に松浦地区がパイロット事業推進地区に指定されたときには、活動の先頭にとって各種地域安全活動等に積極的に取り組みました。周囲の住民からの信頼も厚く、地域の総合的な防犯活動に寄与しています。

いじめをなくそう！

— 児童・生徒代表者会議 —

市内の小・中学校の代表者がいじめ問題について意見交換をする代表者会議が開かれました。いじめ根絶促進を目的として毎年開催されています。

児童代表者会議 「なかよし松浦っ子会議」

7月24日（市役所市民ホール）

市内の小学校12校の児童代表者や保護者約50人が参加。会議では、星鹿小の児童が議長団を務め、それぞれの学校でのいじめ根絶に向けての取り組みについて発表し合ったり、質疑応答、意見交換を行ったりしました。

各学校からは、主な取り組みとして、なかよし集会や縦割り班活動、なかよしの木作りなどの活動発表を行いました。

市内の全小学校で取り組むこととして、学校同士で「手紙の交換」をすることなどを決めました。



生徒代表者会議 「リーダーズミーティング」

7月25日（市役所市民ホール）

市内の中学校7校の生徒代表者や保護者など約50人が参加。会議では、各中学校で決めた標語を発表しあいました。

また、「みんなが楽しい学校生活を送るためにはどうしたらよいか」などについて討論しました。

